



火山噴火に備える ～火山噴火からいのちを守る～



火山と親しみ、 火山をよく知る。 噴火対策を 知っていますか？

- 地域の火山と親しみ、内外の火山活動を学びましょう。
- ハザードマップや、噴火対策を知っていますか？
- 突発的な危機の発生に対して、ふだんから備えてますか？



火山活動が始まったら

- 火山情報を入手し、突然の噴火開始に備えましょう。
- 噴火発生時には、必要な警戒・避難行動をとりましょう。
- 最初の噴火だけが危険とは限りません。慎重な判断と行動力が不可欠です。
- 地域の観光客や要配慮者の安全確保を支援しましょう。



噴火の終息は わかりにくいもの。 終息後は次期対策の チャンス

- 噴火活動の終息はわかりにくいので、見かけの静穏化にだまされないようにしましょう。
- 危険性の自己判断は避け、十分な観測データに基づく公的情報に従いましょう。
- 噴火終息時の復興期は、より安全なまちづくりを進める機会です。



身近な火山について知る



- ハザードマップや避難計画、観測・監視や火山情報などを学びましょう。
- 対応イメージ訓練や登山会、野外学習会などに参加し、減災行動につなげましょう。
- 親から子へと語り継ぎ、住民・行政・専門家の連携による減災力向上を進めていきましょう。

噴火前兆現象と警戒・避難



- 前兆現象は様々です。火山活動は不確定性が高く、完璧な予知は不可能です。進行中の現象から目を離さず、迅速で最適な直撃回避行動が必要です。

火山情報や警戒・避難情報に従い、安全第一の行動を



- 規制区域や警戒区域に立ち入らないようにしましょう。
- 入山規制・避難指示に従って、安全第一の迅速な行動をしましょう。
- 公的情報とともに現地情報も有効に利用しましょう。
- 噴火活動は長引く場合があるので、安全第一の慎重な行動が必要です。